



皆様こんにちは。日本大使の清水です。日頃から日本語教育の普及のためにご活躍  
いただいている先生方に、心よりお礼を申し上げます。

2012年より国際交流基金のスキームを活用して本格的にスタートした「モンゴル日本語教育スタンダード作成プロジェクト」も今年で3年目を迎えております。現在『日本語できるモン ひらがな』『同 レベル1』『同 レベル2』『同 レベル3』という4つの教師用教科書が完成したということで、着実に成果を上げていることに、心よりお喜び申し上げます。

かつてモンゴルにおいては旧ソ連式のつめこみ型・暗記型の授業が中心であったと承知しておりますが、現在世の中は、子供の自主的な思考を促すという指導法に変わりつつあります。このような時代の流れに追いつき、日本語教育スタンダードという新しい考えに基づく日本語教育を普及しようとしていらっしゃるモンゴル日本語教師会の先生方に対し、心より敬意を表したいと思えます。モンゴル全土での日本語教育スタンダード実践はまだ道半ばではありますが、皆様の努力は必ず報われ、近い将来、全国でスタンダードに基づいた教育が行われるようになることを期待しております。

皆様もご存知のとおり、日本とモンゴルの間に経済連携協定が締結されました。今後モンゴルと日本との経済関係が急速に高まるでしょう。皆様の中には、日本語を勉強しても働く場所がない、日本の企業が来てくれない、といったご不満をお持ちの方も多くいらっしゃると思いますが、今後日本とモンゴルの間に新しい経済関係を発展させる大きなツールができました。私達も、日本とモンゴルの経済関係の担い手となる高い日本語力を持った方々が多く配置されるようになることを願っております。その意味で、日本語を教えるという非常に大切な役割を担っていく皆様方に対しても、大変な期待を持っております。

最後になりましたが、このシンポジウムの開催にあたりご尽力いただいた日本語教師会のドルゴル会長ほか、関係者の皆様方、また日本からはるばるお越しくくださった嶋田先生にもお礼を申し上げます。今回のシンポジウムの成功を心よりお祈り申し上げます。ありがとうございました。